

2019 年度 秋季リーグ戦評

筑波大学硬式野球部

順位表

順 位	大 学	勝	負	勝ち点
優 勝	東 海 大 学 (4季連続73回目)	10	0	5
2	武 蔵 大 学	8	4	4
3	筑 波 大 学	5	7	2
4	日 本 体 育 大 学	5	7	2
5	帝 京 大 学	4	8	1
6	大 東 文 化 大 学	3	9	1

9月1日 (日) 第1週 1日目 第3試合 1回戦 (サーティーフォー相模原球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
武藏大学	1	2	0	0	3	1	1	1	X	9

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(三)	篠原	④	敦賀気比	5	1	0
(二)	皆神	④	常総学院	3	1	1
(一)	片岡	②	報徳学園	4	0	0
(指)	田中力	③	福岡大大濠	4	0	0
(右)	濱内	①	履正社	4	2	0
(中)	若狭	④	今治西	4	1	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	2	0	0
打	野中	②	秋田南	1	0	0
捕	清水大地	④	日立第一	0	0	0
(左)	清水大海	①	日立第一	4	2	2
(遊)	井口	④	県立相模原	3	0	0
打	阪上	②	須磨学園	1	0	0
合計				35	7	3

投手	●村木、中真、吉本、浅井
捕手	高瀬、清水大地
本塁打	
三塁打	
二塁打	清水大海2、濱内

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
●村木	③	静岡	4	24	9	5
中真	④	首里	2	10	2	1
吉本	②	彦根東	1 2/3	10	3	2
浅井	②	名古屋大学教育学部附	1/3	1	0	0

秋季リーグ第1戦、筑波大学の先発はエースの村木（静岡・体育3。初回、立ち上がりを攻められ、先制を許す。2回にも失策が絡み、2点を奪われ2回で3対0と苦しい展開を強いられる。反撃したい筑波大学は4回、濱内（履正社・体育1）、若狭（今治西・体育4）が連打で出塁すると、2死一、二塁でリーグ戦初出場初スタメンの清水大海（日立第一・体育1）が左線2点二塁適時打を放ち1点差に迫る。しかし5回、村木が死球を挟み4連打を浴び追加点を許し、4点差とされてしまう。筑波大学は7回に篠原（敦賀気比・体育4）の安打、皆神（常総学院・体育4）の犠飛で1点を返すも、村木の後を受けた中真（首里・体育4）、吉本（彦根東・体育2）が武藏打線に捕まり、3-9と点差を広げられてしまう。8回にはリーグ戦初登板となる浅井（名古屋大学教育学部附・体育2）が打者1人を抑え、味方の援護を待つが得点を奪えず、秋季リーグ開幕戦は黒星スタートとなった。

9月2日(月) 第1週 2日目 第2試合 2回戦 (バッティングパレス相石スタジアムひらつか)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
武藏大学	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3
筑波大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(三)	篠原	④	敦賀気比	4	1	0
(二)	皆神	④	常総学院	4	1	0
(右)	濱内	①	履正社	3	0	0
(指)	田中力	③	福岡大大濠	2	0	0
打指	野中	②	秋田南	2	0	0
(一)	片岡	②	報徳学園	4	3	0
(中)	若狭	④	今治西	4	0	0
(左)	清水大海	①	日立第一	4	1	1
(捕)	高瀬	④	常総学院	2	0	0
打	天貝	③	土浦第一	1	0	0
(遊)	井口	④	県立相模原	2	0	0
打	串田	③	県立船橋	1	0	0
遊	座馬	③	浜松北	0	0	0
打	阪上	②	須磨学園	1	0	0
合計				34	6	1

投手	●佐藤、藪崎
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	
二塁打	

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
●佐藤	②	仙台	7 2/3	34	7	2
藪崎	④	県立船橋	1 1/3	4	0	0

開幕戦を落とし、何とか第3戦に持ち込みたい第2戦の先発は佐藤(仙台・体育2)。佐藤は初回、2つの四死球でピンチを作るも、2つの三振を奪い無失点に抑える。その裏、先頭の篠原(敦賀気比・体育4)が安打で出塁し盗塁を決め、その後1死三塁の好機を作るも得点とはならない。佐藤は3回まで四球で走者を背負うも、4者連続三振を奪うなど、上々の立ち上がりを見せる。しかし4回、佐藤は2本の長打を許し、2点を奪われる。反撃したい筑波大学はその裏、5番の片岡(報徳学園・体育2)が安打で出塁し盗塁を決めると、昨日適時打を含む2安打を放った7番の清水大海(日立第一・体育1)が2試合連続となる適時打を放ち1点を返す。その後、何とか同点に追いつきたい筑波大学だが、相手投手の好投により得点を奪えない。すると8回、佐藤は味方の失策も絡み、追加点を許してしまう。佐藤の後を受けた藪崎(県立船橋・社工4)が1回途中を無失点に切り抜けるも、打線が相手投手を打ち崩せず2連敗を喫した。

先発の佐藤は8回途中155球を投げ、毎回の13個の三振を奪う好投を見せるも、打線が奮起せず、第1節の勝ち点を落とす痛い敗戦となった。

9月7日(土) 第2週 1日目 第1試合 1回戦 (大田スタジアム)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
大東文化大学	0	0	2	0	1	0	0	1	X	3

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(三)	篠原	④	敦賀気比	2	0	0
(二)	皆神	④	常総学院	2	0	0
(右)	濱内	①	履正社	3	0	0
打	渡邊将	④	藤島	1	0	0
左	串田	③	県立船橋	0	0	0
(指)	田中力	③	福岡大大濠	1	0	0
打指	天貝	③	土浦第一	1	0	0
(一)	片岡	②	報徳学園	4	1	0
(中)	若狭	④	今治西	4	2	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	2	0	1
打	阪上	②	須磨学園	1	0	0
(左)右	清水大海	①	日立第一	3	0	0
(遊)	井口	④	県立相模原	2	1	0
打	大坂	③	新発田	1	0	0
合計				27	4	1

投手	●村木、藪崎
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	
二塁打	

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
●村木	③	静岡	5	21	5	2
藪崎	④	県立船橋	3	11	0	0

首都大学野球秋季リーグ戦第2週・大東文化大学との第1戦が行われた。筑波大学は初回、篠原(敦賀気比・体育4)が四球で出塁すると、続く皆神(常総学院・体育4)の犠打で好機を作るが、後続が倒れ無得点に終わる。筑波大学の先発はエースの村木(静岡・体育3)。初回、2回は完璧に押さえたが、3回に先頭打者を四球で出すと、続く打者の犠打を野選で無死一、二塁のピンチを作ってしまう。犠打と二ゴロで2死二、三塁としたが、続く2番打者への初球を中前に運ばれ先制を許す。ここで流れを切りたい筑波大学であったが、続く3番打者にも初球を打たれ、この回2点目を奪われる。反撃したい筑波大学は4回、一塁に走者をおいて6番の若狭(今治西・体育4)が右前安打で1死一、三塁と好機を作る。7番の高瀬(常総学院・体育4)が右犠飛を放つが、反撃はそこまで。終始大東文化大学に主導権を握られた筑波大学は5回に1点を追加され3-1で敗れ、開幕から3連敗を喫した。

9月14日(土) 第3週 1日目 第2試合 2回戦 (日本体育大学健志台球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
筑波大学	0	0	0	0	0	0	4	0	X	4

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(三)	篠原	④	敦賀気比	3	2	1
(中)	若狭	④	今治西	4	2	1
(一)	片岡	②	報徳学園	4	2	0
(指)	野中	②	秋田南	3	1	0
打指	大坂	③	新発田	1	0	0
(二)	皆神	④	常総学院	3	0	0
(右)	濱内	①	履正社	2	0	0
打左	串田	③	県立船橋	2	1	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	4	3	2
(左)右	清水大海	①	日立第一	3	1	0
(遊)	小川柾	①	札幌第一	3	0	0
打	田中力	③	福岡大大濠	1	0	0
遊	井口	④	県立相模原	0	0	0
合計				33	12	4

投手	○佐藤
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	
二塁打	高瀬、篠原

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
○佐藤	②	仙台	9	35	6	0

首都大学野球秋季リーグ戦第2週、大東文化大学との第2戦が行われた。筑波大学は初回に篠原(敦賀気比・体育4)、2回以降も清水大海(日立第一・体育1)、片岡(報徳学園・体育2)、野中(秋田南・体育2)らの安打で6回まで毎回得点圏に走者がいるも、あと1本が出ず、無得点が続く。7回、先頭打者の5番・皆神(常総学院・体育4)、続く串田(県立船橋・体育3)が無死一、二塁の好機を作ると、高瀬(常総学院・体育4)が左中間を破る適時二塁打を放ち、ついに2点を先制する。さらに篠原、若狭(今治西・体育4)がそれぞれ適時打を放ち、この回合計4点を奪う。投げては、先発の佐藤(仙台・体育2)が走者を背負いながらも要所を締め、9回を投げ切り完封した。中盤まで両者得点が入らない膠着した試合展開となつたが、好機をものにした筑波大学が4-0と勝利し、開幕からの連敗を止めた。

9月15日(日) 第3週 2日目 第1試合 3回戦 (日本体育大学健志台球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大東文化大学	0	0	0	0	0	4	1	1	X	6

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(三)	篠原	④	敦賀気比	4	0	0
(中)	若狭	④	今治西	4	0	0
(一)	片岡	②	報徳学園	2	1	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	2	0	0
打	水飼	③	竜ヶ崎第一	1	0	0
(指)	野中	②	秋田南	2	0	0
打指	大坂	③	新発田	1	0	0
(左)	串田	③	県立船橋	3	0	0
(右)	清水大海	①	日立第一	3	1	0
(二)	皆神	④	常総学院	2	0	0
打	田中力	③	福岡大大濠	1	0	0
二	桑野	③	岐阜北	0	0	0
(遊)	井口	④	県立相模原	2	0	0
打	渡邊将	④	藤島	1	0	0
遊	小川柾	①	札幌第一	0	0	0
合計				28	2	0

投手	●村木、藪崎、清水翔、吉本
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	清水大海
二塁打	

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
●村木	③	静岡	6	23	4	1
藪崎	④	県立船橋	3	10	4	1
清水翔	③	下妻第一	2/3	5	2	0
吉本	②	彦根東	2/3	2	0	0

首都大学野球秋季リーグ戦第2週大東文化大学との第3戦が行われた。筑波大学は2回2死走者無から清水大海(日立第一・体育1)が右線三塁打で先制の好機を作るも後続が倒れ無得点に終わる。筑波大学先発の村木(静岡・体育3)は走者を背負いながら也要所を締める投球で5回を無失点に抑える。しかし、6回に四球や味方の失策が絡み失点し、後を受けた藪崎(県立船橋・社工4)も流れを止められずこの回4点を失う。7回には連続三振でテンポよく2つのアウトを取るも、2連打を浴びる。ここでリーグ戦初登板となる清水翔(下妻第一・体育3)に交代するも押し出しで1点を追加される。続く8回にもタイムリーを浴び6点差とされる。打線は2安打と好機を作れず無得点に終わる。最後まで投打がかみ合わず0-6で敗れ、2カード連続で勝ち点を落とした。

9月21日(土) 第4週 1日目 第2試合 1回戦 (牛久運動公園野球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
帝京大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(一)	片岡	②	報徳学園	4	1	0
(中)	若狭	④	今治西	2	1	0
(三)	篠原	④	敦賀気比	4	1	2
(右)	濱内	①	履正社	4	1	0
(左)	清水大海	①	日立第一	4	1	0
(指)	串田	③	県立船橋	3	1	0
(遊)	小川柾	①	札幌第一	4	0	0
(二)	皆神	④	常総学院	4	1	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	3	0	0
合計				32	7	2

投手	○佐藤
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	篠原
二塁打	

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
○佐藤	②	仙台	9	31	5	0

HOMEGAMEとして戦う帝京大学との第1戦。筑波大学は初回、若狭(今治西・体育4)が四球で出塁するも無得点で終わる。筑波大学は佐藤(仙台・体育2)が先発し、走者を出すも初回を3人で終える。3回表、2死から片岡(報徳学園・体育2)が内野安打で出塁、若狭が四球を選ぶと、2死一、二塁で篠原(敦賀気比・体育4)が中越適時三塁打を放ち、幸先よく2点を先制する。しかし、その後は両投手が好投し無得点が続く。筑波大学は、終盤も好機を作るがあと1本が出ずにつながった。先発の佐藤は9回を無失点に抑え、2-0で筑波大学が勝利し、今季初の勝ち点に近づいた。

HOMEGAME開催においては「繋がり」をテーマとし、広報部局を中心にカウントダウン動画の作成やバストツアーや企画、試合中にはストラックアウトやスイングスピードコンテストを実施するなど様々な企画を行った。さらにスタンドには、OB・OG、父兄の方々だけでなく近隣の高校や少年野球チームが集まり、スタンドはFUTURE BLUEに染まった。

9月22日(日) 第4週 2日目 第1試合 2回戦 (牛久運動公園野球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
帝京大学	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3
筑波大学	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(一)	片岡	②	報徳学園	4	1	0
(中)	若狭	④	今治西	2	0	0
(三)	篠原	④	敦賀気比	3	1	0
(右)	濱内	①	履正社	2	0	0
打	野中	②	秋田南	1	1	0
走右	今井	①	健大高崎	0	0	0
打	阪上	②	須磨学園	1	0	0
右	渡邊将	④	藤島	0	0	0
(左)	清水大海	①	日立第一	4	0	0
(指)	串田	③	県立船橋	4	3	1
(遊)	小川柾	①	札幌第一	2	0	0
打	田中力	③	福岡大大濠	1	1	1
走遊	井口	④	県立相模原	1	0	0
(二)	皆神	④	常総学院	4	0	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	3	0	0
合計				32	7	2

投手	村木、●藪崎、佐藤
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	串田
二塁打	串田

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
村木	③	静岡	5	22	6	2
●藪崎	④	県立船橋	3	13	3	1
佐藤	②	仙台	1	4	1	0

HOMEGAME2 戰目。前日の勝利の勢いに乗りたい筑波大学の先発村木（静岡・体育3）は初回から連打を浴び序盤で2点を失う苦しい立ち上がり。それでも粘りを見せ5回を2失点にまとめる。一方打線は相手投手の好投に阻まれ5回までに1安打に封じられる。しかし7回先頭の代打野中（秋田南・体育2）が右前安打を放ち反撃の狼煙を上げると、1死一塁から串田（県立船橋・体育3）が右線適時三塁打を放ち、続く代打田中力（福岡大大濠・体育3）の適時打でこの回一気に同点とする。同点で迎えた9回無死一、二塁のピンチでマウンドに上がったのは前日好投を見せた佐藤（仙台・体育2）。圧巻の投球で2つのアウトを取るもその後適時打を浴び1点を失う。その裏筑波大学も粘りを見せるが反撃及ばず3-2で帝京大に敗れ、勝ち点の行方は3戦目に持ち越された。

10月5日(土) 第6週 1日目 第1試合 3回戦 (小野路球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	R
筑波大学	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3	6
帝京大学	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	5

*連盟規定により、11回よりタイブレーク適用(11回から個人成績は投手の勝敗のみ)

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(一)	片岡	②	報徳学園	5	0	0
(中)	若狭	④	今治西	3	0	0
右	伊藤	②	横手	1	1	0
(二)	篠原	④	敦賀気比	5	0	0
(指)	田中力	③	福岡大大濠	4	1	1
走指	阪上	②	須磨学園	0	0	0
打指	濱内	①	履正社	1	0	0
(右)中	清水大海	①	日立第一	5	1	0
(左)	串田	③	県立船橋	3	1	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	4	2	0
(三)	井口	④	県立相模原	2	0	0
打	野中	②	秋田南	1	1	1
走	今井	①	健大高崎	0	0	0
三	皆神	④	常総学院	1	0	0
(遊)	小川柾	①	札幌第一	3	1	0
合計				38	8	2

投手	佐藤、藪崎、村木、○吉本
捕手	高瀬
本塁打	田中力[1号ソロ]
三塁打	
二塁打	

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
佐藤	②	仙台	2	10	3	0
藪崎	④	県立船橋	5	21	2	1
村木	③	静岡	2	11	3	1
○吉本	②	彦根東	1	3	1	0

勝ち点をかけて戦う帝京大学との第3戦。筑波大学は初回、相手投手の前に三者凡退に打ち取られる。しかし佐藤(仙台・体育2)も、安打を許すもアウトを全て三振で取る完璧な立ち上がりを見せる。2回表、先頭の田中力(福岡大大濠・体育3)が豪快な右越本塁打を放ち筑波大学が先制する。しかし佐藤が2回で降板する形になり3回から藪崎(県立船橋・社工4)が登板。その後、5回まで両投手が粘りの投球を見せ、無得点が続く。しかし、藪崎が6回裏に適時打を浴び同点に追いつかれてしまう。しかし、7、8回と筑波大学は1点ずつを追加し、3-1と2点リードの状況で最終回を迎える。マウンドを託された村木(静岡・体育3)だったが、連打を浴び再び試合は振出しへ。延長11回からタイブレークとなり筑波大学は皆神(常総学院・体育4)、天貝(土浦第一・人文3)の連続適時打で3点を取り、その裏2点を取られるも吉本(彦根東・体育2)が最後の打者を遊ゴロに抑え、6-5で筑波大学が逃げ切り、今季初の勝ち点を獲得した。

9月28日(土) 第7週 1日目 第2試合 1回戦 (越谷市民球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
日本体育大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(左)	串田	③	県立船橋	4	1	0
(中)	若狭	④	今治西	4	0	0
(二)	篠原	④	敦賀気比	3	0	0
(指)	田中力	③	福岡大大濠	3	1	0
(一)	片岡	②	報徳学園	4	0	0
(右)	清水大海	①	日立第一	4	2	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	3	0	0
(三)	座馬	③	浜松北	2	0	0
(遊)	小川柾	①	札幌第一	3	0	1
合計				30	4	1

投手	○佐藤
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	清水大海2
二塁打	

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
○佐藤	②	仙台	9	28	1	0

関東大会出場へ望みをつなぐための重要な1戦目。筑波大学は2回、2死から清水大海(日立第一・体育1)が右中間を破る三塁打を放ち先制の好機を作るも先制とはならない。先発の佐藤(仙台・体育2)は4回に2死から安打を打たれ盗塁を許し2死二塁のピンチを迎えるも、見事な牽制刺殺で無失点に抑える。佐藤の好投に応えたい打線は6回、1死から串田(県立船橋・体育3)が内野安打で出塁その後2死二塁とすると打席には主将の篠原(敦賀気比・体育4)。篠原は冷静にボールを見極め四球で出塁し好機を広げる。続く4番田中力(福岡大大濠・体育3)の5球目に重盗を成功させ、田中力も四球で出塁し2死満塁の絶好の好機を作る。しかし相手投手を崩せずあと一本が出ない。それでも7回、先頭の清水大海が本日2本目となる右線三塁打で好機を作ると、1死三塁で打席には今季初スタメンの座馬(浜松北・体育3)。2ストライクと追い込まれた4球目、相手投手の決め球であるフォークを何とか転がし待望の先制点を挙げる。打線の援護を受けた佐藤は抜群の安定感を見せ、4回以降二塁を踏ませない完璧な投球を披露する。佐藤は9回を投げ抜き、被安打1、7三振を奪い完封勝利を挙げる。佐藤はチームの悪い流れを断ち切る投球を見せ、関東大会出場へ望みを繋げた。

9月29日(日) 第7週 2日目 第1試合 2回戦 (越谷市民球場)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日本体育大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
筑波大学	0	0	0	5	1	0	0	1	X	7

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(一)	片岡	②	報徳学園	3	1	0
(中)	若狭	④	今治西	3	1	0
(二)	篠原	④	敦賀気比	4	2	2
(指)	田中力	③	福岡大大濠	3	0	1
(右)	清水大海	①	日立第一	3	0	0
(左)	串田	③	県立船橋	4	2	1
(捕)	高瀬	④	常総学院	3	1	0
(三)	座馬	③	浜松北	4	1	2
(遊)	小川柾	①	札幌第一	2	0	0
合計				29	8	6

投手	○藪崎、中真、佐藤
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	
二塁打	串田、座馬、篠原

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
○藪崎	④	県立船橋	7	27	7	1
中真	④	首里	1	3	0	0
佐藤	②	仙台	1	3	0	0

前日の第1戦で接戦を制し、その勢いのまま連勝で勝ち点をとりたい筑波大学。先発のマウンドには藪崎(県立船橋・社工4)が上がる。3回に本塁打で先制を許すものの、その後は要所を締め、追加点を許さず、堂々たる投球を見せる。打線は4回、片岡(報徳学園・体育2)、若狭(今治西・体育4)の連打で好機を作ると、篠原(敦賀気比・体育4)の適時打、田中(福岡大大濠・体育3)の犠飛で勝ち越しに成功する。さらに、串田(県立船橋・体育3)、座馬(浜松北・体育3)も適時打を放ち、一挙5点の猛攻を見せる。5回には篠原がこの日2本目の適時打を放ち、8回には相手の失策で得点を重ね、試合を優位に進める。好投した藪崎に代わり、8回は中真(首里・体育4)、最終回は佐藤(仙台・体育2)がそれぞれ完璧な投球を見せ、7-1で試合終了。投打がかみ合い、秋季リーグ初の勝ち点を奪うことができた。

10月20日(日) 第7週 2日目 第3試合 1回戦(バッティングパレス相石スタジアムひらつか)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
筑波大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
東海大学	0	0	0	0	0	2	0	0	X	2

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(一)	片岡	②	報徳学園	4	3	0
(三)	皆神	④	常総学院	3	0	0
打	阪上	②	須磨学園	1	1	0
三	桑野	③	岐阜北	1	0	0
(二)	篠原	④	敦賀気比	4	1	0
(左)	田中力	③	福岡大大濠	3	0	0
走	今井	①	健大高崎	0	0	0
左	伊藤	②	横手	0	0	0
(指)	野中	②	秋田南	4	1	0
(中)	串田	③	県立船橋	4	2	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	3	0	0
打	渡邊将	④	藤島	0	0	0
(右)	清水大海	①	日立第一	3	1	0
打	濱内	①	履正社	0	0	0
走	井口	④	県立相模原	0	0	0
(遊)	小川柾	①	札幌第一	2	0	0
打	天貝	③	土浦第一	1	0	0
合計				33	9	0

投手	●藪崎
捕手	高瀬
本塁打	
三塁打	
二塁打	串田、片岡

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
●藪崎	④	県立船橋	8	33	7	0

関東大会に出場するために負けられない東海大学との1戦目。筑波大学の先発藪崎(県立船橋・社工 4)は初回、2回と得点圏に走者を背負うもいずれも併殺で危機を脱す。その後も出塁を許すが粘りの投球で5回まで東海打線を無得点に抑える。一方打線は2回に串田(県立船橋・体育 3)が2死から二塁打で出塁するも得点とはならない。4回には野中(秋田南・体育 2)、串田の連打、5回は先頭の清水大海が単打で出塁、6回も先頭の篠原(敦賀気比・体育 4)が単打で出塁し好機を作るも、あと1本が出ない。すると6回裏、ついに均衡が破れる。連打を浴び、1死2、三塁のピンチを背負い、次打者の三星への打球を皆神(常総学院・体育 4)が裁き本塁へ送球。しかしこの送球が走者に当たり、その間に走者2人が生還し、2点を先制される。なんとか追いつきたい打線は8回、先頭の片岡が左線二塁打で出塁、続く代打の阪上が中前安打を放ち、無死1、三星の好機を作るがここでもあと1本が出ず無得点に終わる。9回表、筑波大学は代打攻勢に出て好機を作り1番の片岡が遊内野安打を放ち1点を返すが、反撃はそこまで。先発の藪崎は8回140球を投げ力投を見せるも、打線が相手投手を攻略できず1-2で敗れ関東大会への道は途絶えることとなった。

10月21日(月) 第7週 2日目 第1試合 2回戦 (バッティングパレス相石スタジアムひらつか)

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
東海大学	0	0	0	0	0	0	1	4	0	5
筑波大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

位置	選手名	学年	出身	打	安	点
(中)	串田	③	県立船橋	4	1	1
(一)	片岡	②	報徳学園	4	1	0
(二)	篠原	④	敦賀気比	4	0	0
(左)	田中力	③	福岡大大濠	3	0	0
左	渡邊将	④	藤島	1	0	0
(指)	野中	②	秋田南	3	0	0
(右)	清水大海	①	日立第一	3	1	0
(捕)	高瀬	④	常総学院	2	0	0
打	阪上	②	須磨学園	1	0	0
走	井口	④	県立相模原	0	0	0
(遊)	小川柾	①	札幌第一	1	1	0
打	大城	④	那覇国際	1	0	0
捕	清水大地	④	日立第一	0	0	0
(三)	桑野	③	岐阜北	1	0	0
打三	皆神	④	常総学院	1	0	0
合計				29	4	1

投手	浅井、中真、●村木、鈴木、吉本、西館
捕手	高瀬、清水大地
本塁打	
三塁打	
二塁打	串田

投手成績

選手名	学年	出身	回	打	安	自
浅井	②	名古屋大学教育学部附	2	6	0	0
中真	④	首里	4	15	3	0
●村木	③	静岡	1 1/3	8	2	3
鈴木	③	日立第一	1/3	4	2	2
吉本	②	彦根東	1/3	1	0	0
西館	①	盛岡第三	1	3	0	0

関東大会出場は逃すも何とか意地を見せ勝ち点獲得に繋げたい東海大学との2戦目。筑波大学先発の浅井(名古屋大学教育学部附・体育2)は2回を打者6人で抑える完璧な投球を見せる。3回からは中真(首里・体育4)が登板し4回1死二塁のピンチを迎えるも二者連続三振を奪う。5回にも2つの三振を奪い4年生の意地を見せる。投手陣の力投に応えたい打線は6回、先頭の小川柾(札幌第一・体育1)が右前安打で出塁し、その後犠打で好機を作ると、続く今季絶好調の串田(県立船橋・体育3)が右中間へ適時三塁打を放ち待望の1点を先制する。7回からは村木(静岡・体育3)がマウンドに上がるも先頭打者に四球を許し、その後2つのアウトを取るが適時打を許し同点に追いつかれる。続く8回も相手打線に捕まり逆転を許し、代わって登板した今秋初登板の鈴木(日立第一・体育3)も追加点を許す。9回にはリーグ戦初登板の西館(盛岡第三・体育1)が1回を打者3人で抑え打線の反撃を待つも、逆転とはならず1-5で敗戦。この試合をもって筑波大学の秋季リーグ戦は幕を閉じた。